

## 大腸内視鏡的粘膜下層剥離術後潰瘍縫縮の有用性に関する検討

へのご協力をお願い

### (研究目的)

過去を含めた内視鏡画像を用いた後ろ向きの観察研究により、大腸内視鏡的粘膜下層剥離術後潰瘍縫縮の有用性を検討します。

潰瘍縫縮とは：大腸内視鏡的粘膜下層剥離術後に発生する傷跡（潰瘍）を、内視鏡手技を用いて、傷口を閉じることです。

### (研究対象)

松江赤十字病院で、大腸内視鏡的粘膜下層剥離術を受けられた方（潰瘍縫縮を受けられた方と、受けなかった方の両方が、研究対象となります）

### (研究期間)

2018年 3月 16日 ～ 2021年 3月 16日

### (研究方法)

当院で大腸内視鏡的粘膜下層剥離術を受けた患者さんの臨床データをカルテから確認し、潰瘍縫縮の有用性を検討します。

カルテ記録からは年齢、性別、血液検査所見、画像検査所見、病理組織学的検査所見、治療歴等をデータとして使用します。なお、個人情報は十分保護されます。

### (その他)

情報の保護：

調査情報は松江赤十字病院にて厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。調査結果は個人を特定できない形で関連の学会等にて発表する予定です。

### (問い合わせ先)

松江赤十字病院

<診療科> 消化器内科

<役職等> 副部長                      <氏名> 結城 崇史

電話番号                      0852-24-2111（代表）

対応時間                      平日 8:20～16:50